創立25周年記念

配電盤団地

1962年～1987年

配電盤茨城団地協同組合

目　　次

発刊のごあいさつ　　配電盤茨城団地協同組合理事長　白川　一郎……(2)

祝　辞

茨　城　県　知　事　竹内　藤男……(3)

商工組合中央金庫理事長　佐々木　敏……(4)

茨城県中小企業団体中央会会長　冨田　正二……(5)

総　和　町　長　青木　保夫……(6)

全国工場団地協同組合連合会会長　羅川　正夫……(7)

組合年譜 ……(8)

役員変遷表 ……(20)

組合及組合員等が受けた表彰等 ……(22)

現役員紹介 ……(24)

組合員物故者名簿 ……(25)

統計資料 ……(26)

団地音頭 ……(28)

団地への交通略図 ……(29)

団地内各社配置図 ……(30)

組合員企業紹介 ……(31)

組 合 概 要

昭和62年 6 月22日

1.	設立年月日	昭和37年 4 月 6 日
2.	所在地	
	本部	東京都港区芝大門 2 丁目11番 1 号
	団地	茨城県猿島郡総和町大字下大野字丸山2000番地
3.	組合数	19社（企業形態は全部，株式会社）
	業種別	配電盤製造業　9 社
		部品製造業　6 社
		加工業者　4 社
4.	役員	理事 13名　監事 3 名
		理事長　白川　一郎
		副理事長　渡邉　義男
		大矢　英男
		専務理事　藤澤　右門
5.	組合専従役職員	13名
6.	各種委員会	（総務，労務）（財務，金融）（文化厚生）
		（業務部）　以上　委員会　4
7.	組合員従業員	総数　1,946名（男子1,413名　女子　533名）
		団地勤務者　749名（男子　502名　女子　247名）
8.	出資金	7,630万円
9.	組合員生産販売高	359億円（61年度）
10.	団地設備	土地　工場団地敷地　147,000㎡（組合名義）
		建物　工場建屋　33棟 25,200㎡
		共同施設外
		建物　組合事務所，資材マーケット外 5 棟　1,191㎡
		構築物　上下水道施設，消火施設，道路舗装等
		厚生施設　食堂，診療所，体育館，軽食堂，4 棟　2,311㎡
		運動場，野球場，テニスコート，プール等

ごあいさつ

配電盤茨城団地協同組合
理事長　白　川　一　郎

通産省指定配電盤茨城団地協同組合が緑の中の工業団地の理想実現を一歩ふみ出されてから，昭和62年10月２日をもって創立25周年を迎えることとなりました。

これも偏えに茨城県並び総和町外関係諸官庁をはじめ，金融機関（商工中金）の御指導と心から厚く御礼申上げます。

過ぎ去った四分の一世紀を振り返り，発足当時町をあげての驚きにも似た喜びの団地は初代幸田理事長を始め，組合員一同並び事務局一同運営に当り，モデル団地として工場見学者が後を絶たない程でした。其の後第一次・第二次石油ショック等，かつて我が国が経験したことのない時代を乗り切ってまいりました。然し業界の過当競争は激化の一途をたどる全く創立当初は考えられない状況におかれ，組合からの数社の脱落や世代交替と各社も変りましたが，堅実な歩をして居ります。

今回，理事長に就任し組合員の意見を積極的に取り入れ，新役員体制のもとで組合運営に当り，委員会活動で早い解決と実行で進んで行きたいと思います。それには組合員の相互の信頼を深め，なお一層の団結を強化にして「配電盤団地」創立時の初心にかえり，感謝の念を持って発展に努力したいと思います。

皆様の一層の御後援を御願い申し上げます。

祝　辞

茨城県知事
竹内藤男

このたび，配電盤茨城団地協同組合が創立25周年を迎えられましたことを，心からお喜び申し上げます。

当工場団地は，東京都内の過密市街地に散在立地していた21社が，工場拡張難，交通混雑難，公害問題等からの解放と，共同事業の推進による経営基盤の安定並びに経営の近代化・合理化を目指して結集し，国及び県の助成を受けて建設されたものであります。昭和37年に着手以来，用地買収から工場建設まで約３年の歳月と15億円余の事業費を投じ，全国に先がけて完成した工場団地であります。

皆様方は，今日に至る過程において，昭和48年秋の石油危機，52年の第一次，60年秋から続いている第二次と２度にわたる円高等，幾多の困難に遭遇されながらも，その都度持ちまえの団結力と優れた英知を結集され，これらの局面を乗り越えてこられました。本県で最初の中小企業工場団地として確固たる経営基盤を築き上げられ，めでたく25周年を迎えられましたことは誠にご同慶にたえません。これもひとえに歴代の理事長さんをはじめ組合員各位の団結とたゆまぬご努力の賜と深く敬意を表する次第であります。

現在のわが国の経済状勢は，円高の定着化貿易摩擦及び新興工業国の追い上げ等による輸出産業の低迷が続き，さらに需要の多様化技術革新及び情報化の急速な進展等のなかで中小企業を取り巻く環境は依然厳しいものがございます。皆様方には，今こそ協同の力をさらに結集され，その力をいかんなく発揮される時と在じます。

県といたしましては，21世紀を展望し，常磐自動車道や東関東自動車道の整備をはじめ北関東自動車道，首都圏中央連絡道の建設促進。日立港，大洗港，鹿島港に加え常陸那珂港の四つの港湾の整備。常磐新線の建設の促進及び霞ヶ浦用水事業などによる水資源の確保など，引き続き県土発展の基盤づくりに努めてまいります。

また，中小企業の振興のため，消費者ニーズの多様化や技術革新の進展等に対応するため，人材の育成を図るほか，新技術新製品の研究開発に対する支援，経営資金等の助成など，各種施策を積極的に展開してまいりますので，皆様方の一層のご協力をお願い申し上げます。

おわりに，配電盤茨城団地協同組合の今後ますますのご発展と組合員各位のご活躍を祈念いたしまして，お祝いの言葉といたします。

祝　　辞

商工組合中央金庫理事長

佐々木　　敏

このたび配電盤茨城団地協同組合が創立25周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴組合は昭和37年都内の配電盤製造業ならびに，関連業界の方々21名により結成され，将来の発展を図るべく現在地に大規模な工場団地を完成させ，集団化による共同のメリットを追求し，相互扶助の組合理念に則り努力を続けてこられました。

今日までの25年間を振り返りますと，第一次，第二次の石油ショック，円相場の変動，発展途上国の追い上げなど，わが国の経済環境は大きく変化し，中小企業も又，厳しい試練に直面して参りました。

貴組合がこのような環境の変化を乗り越えて立派な集団化の成果をあげてこられましたことは，組合幹部の強力なリーダーシップはもとより組合員の皆様方の固い団結と組合運営に対する御努力の賜と深く敬意を表する次第であります。

今後の中小企業をとりまく経済環境は，更に一層の厳しさを増すものと予測されますが，新しい時代への対応として，中小企業の組織化が果す役割は従来にも増して重要になっており，技術開発や情報収集などソフト面の共同事業を強化したり，異業種間における組合活動の強化を図っていくことが不可欠であると存じます。

貴組合におかれましては，この輝かしい25周年を契機に，組織化活動の原点に立ちかえり，更に新しい時代のニーズに適合した対応を図られ，〝魅力ある組合活動〟の一層の展開を実現されますよう期待してやみません。

私ども商工中金といたしましても，組織金融の専門機関として従来にも増して皆様方との連繋を密にし，金融面でのお取引はもとより，経営情報をはじめ各種情報の提供を通じ，お役に立てます様努力してまいりたいと念願いたしております。

栄ある25周年記念にあたり，貴組合ならびに組合員の皆様の一層のご発展，ご繁栄を祈念いたしまして祝辞といたします。

祝　　辞

茨城県中小企業団体中央会会長

冨　田　正　二

このたび配電盤茨城団地協同組合が創立25周年を迎えられたことに心からお祝いを申し上げます。

貴組合は，昭和37年日本経済の高度成長期に，東京都下の配電盤メーカーと関連業者で設立され，昭和38年に制定された中小企業近代化資金助成法にもとづき，全国最初の工場等集団化高度化事業を本県の地を選んで着手されました。

以来，幾多の困難を克服し「モデル工場団地」として成果を挙げると共に，全国工場団地協同組合連合会のリーダー組合として着実な歩みと実績をあげてこられました。

組織の運営は，一朝一夕に築きあげられるものではなく，社会環境の変化に対応して業界の振興と団地運営を積極的に推進された初代理事長及び役員各位の永年に亘るご努力のたまものであり，改めて深い敬意を表する次第であります。

ご承知のように，昨今のわが国経済は，円高，貿易摩擦等による景気の低迷，高度情報化社会，高令化社会の到来，さらには雇用調整の発生等極めて厳しい情勢にあります。

このような新たな試練を克服して，中小企業者が活力ある担い手として発展を遂げていくためには，組織の充実強化が重要であり，業界の実態を直視した今後の組合のあり方，団地運営の新たなビジョン造りが要請されており，工場団地のパイオニアとして出発された貴組合に，新たな時代に対応した団地像が求められています。

幸いに，貴組合には，創立以来幾多の試練を乗り越えて培われた伝統と優れたリーダーにめぐまれておりますので，今後とも強固な団結と組織力を十分に活用され，この記念すべき25周年を契機として旺盛な創造力とたゆまざる自助努力をもって，より一層のご発展を祈念いたしましてお祝いの言葉とします。

祝　辞

総和町長
青木保夫

配電盤茨城団地協同組合創立25周年に当たり，一言ごあいさつ申し上げます。

顧みますれば，配電盤茨城団地協同組合は，関連企業の皆様が大同団結して工場の集団化による企業の協同化及び近代化を促進するとの目的をもとに当町への進出を計画され，昭和37年全国のモデルオープン団地として設立されたのであります。以来今日まで25年間の長きにわたり，組合員各社の力強い結束のもとに，町内企業の中枢としてゆるぎない地位を築かれ，町政の発展民生の安定に多大な貢献をされたことに対しまして，厚くお礼申し上げます。

さて，今日の社会経済情勢は，円高不況，貿易摩擦の深刻化，地価の異常高騰等きびしい状況下にありますが，貴組合の皆様におかれましては，過去幾多の試練を乗り切った実績と深い洞察力，的確な判断に基づいた経営努力により，今後もますます向上発展を遂げられるものと確信しております。当町におきましても，豊かで住みよい未来に誇れる田園工業都市づくりを目ざし，社会の変化に対応し，新しい時代の要請に十分応えられるようその基盤づくりを積極的に進めているところでありますが，特に，雇用や財政面で大きな役割を果たしている工業の振興については，行政の重点施策の一つとして取り組んでおり，工業会並びに商工会と連携を保ちながら，生産性の向上，技術水準の高度化，経営の近代化等総合的な施策を展開しているところであります。

この創立25周年という輝かしい伝統と信用のうえに立って更に組合員各社一致団結し，強固な企業体として一大飛躍を期され，日本経済の興隆と産業の近代化に大きな貢献をなされるよう念願いたします。

終りに，貴組合並びに組合員各社，従業員各位のますますのご健勝，ご繁栄を祈念し，お祝いのことばといたします。

祝　　辞

全国工場団地協同組合連合会会長
羅　川　正　夫

配電盤茨城団地協同組合創立25周年誌の発刊を心からお祝い申し上げます。

顧りみますと，貴組合が昭和37年に茨城県第一号の工場団地組合として発足しましたが，当時は，開放経済への移行や，堀江青年の単独ヨットでの太平洋横断成功等で賑っておりました。

また，39年に貴団地が完成した頃は東海道新幹線の開通や東京オリンピックで，特に我が国の高度成長期へ本格的に突入した時期でもありました。

昭和36年に東京配電盤工業会の会員が中心となって工場団地を計画した頃，現在地の役場が熱心に誘致運動された結果，適地として選定し，県及び通商産業局並びに中小企業庁のご支援により立派な団地を完成された訳であります。

25年・つまり四分の一世紀の間には高度成長期から安定成長期へと日本経済が激変する中で，組合員企業発展のために組合の共同事業を積極的に取り組んでこられました。また，この間に幾多の困難な問題にも対処されたのは，優れたリーダーとしての故幸田前理事長のご盡力によるものと共に，それを支えられた役員の方々及び組合員の強力なご協力があったのではないかと拝察する次第であります。

貴組合が工場集団化制度の発足と同時に建設された団地は，いわば工場団地のパイオニアであった訳であります。

ご承知のとおり，最近の我が国の経済環境は，かつて経験のない未知数な問題処理を抱え，また，円相場の急激な変動による経営基盤への影響など予測でき得ない問題が出てまいります。

皆様方におかれましては，創立25周年の輝かしい歴史を土台として，更に一層強固な団結を図って活力溢れる経済活動を展開されるようお願いする次第であります。

終りに，配電盤茨城団地協同組合のますますのご発展と組合員各位のご繁栄を心から祈念してお祝いの言葉といたします。

組合年譜　25年のあゆみ

1. 昭和36年５月東京配電盤工業会会長幸田秀一，副会長宇賀神金四郎外幹部役員を中心に工場団地建設計画を企画し同年７月より茨城県猿島郡総和町長に土地買収方交渉開始，土地確保に着手。
1. 昭和36年11月15日，茨城県に出頭し集団化援助を要望し，同年12月，工場集団化貸付金特別会計予算の配慮を願出た。
1. 昭和37年３月26日東産認協第514号を以て組合設立認可を受く。
1. 組合員　21名　出資金540万円を以て組合設立，理事長幸田秀一，常務理事宇賀神金四郎，樋口重蔵，白川一郎，理事久保田正，大口慶次郎，田原一郎，宮田優，武藤任，監事中谷俊衛，渡辺勝次郎，遠藤てる，就任，昭和37年４月６日設立登記完了。

1. 工場用地買収を総和町開発公社に依頼買収に着手し昭和36年８月26日工場用地140,644㎡（公簿）の買収契約成立，契約金として41,962千円支払昭和37年２月27日代金完済。
1. 昭和37年１月団地造成を決議し工場等集団化事業実施計画書を茨城県へ提出，三ヶ年計画として下記実施を決定

初年度　土地造成，各社工場21棟，受電，給排水，消火設備

二年度　組合事務所，診療所，食堂，日用品及資材マーケット，試験室等の建物，従業員宿舎，道路舗装

三年度　塵埃処理場，マイクロバス，防火貯水槽，境界，研修会議室，防犯灯等

予算合計　820,479千円

1. 昭和37年６月　組合の総力を結集して建設に当ることを議決し下記委員会を設置して団地建設を分担して着手した。

総務委員会＝諸計画を企画担当
委員長　幸田理事長

造成委員会＝土地造成を担当
委員長　田原理事

建設委員会＝工場建物建設を担当
委員長　久保田理事

金融委員会＝建設資金の調達を担当
委員長　大口理事

土地委員会＝住宅用地買収を担当
委員長　宮田理事

住宅建設委員会＝従業員宿舎建設を担当
委員長　宮田理事

1. 昭和37年６月　農地転用事前審査申請同年12月承認，38年６月農地転用本申請，同年８月29日承認許可を受く。
1. 昭和37年７月　茨城県知事より団地指定の通知を受け，建設診断開始。
1. 昭和37年７月　山下寿郎設計事務所に建設設計を依頼。
1. 昭和37年12月１日　鹿島建設㈱との間に

初年度工事契約締結，同年12月13日地鎮祭挙行し工事着手。

1. 昭和38年２月８日　茨城県へ初年度工事に対する中小企業近代化資金交附申請提出，同年２月20日承認決定，２月22日7,100万円借入を受く。
1. 昭和38年６月28日　初年度工事に対する中小企業金融公庫並に商工組合中央金庫の協調融資各5,000万円宛の融資を受く。
1. 昭和38年２月より工場用地所有権移転登記，同年９月完了。
1. 昭和38年５月　定時総会開催第１期決算を承認，役員改選の結果，理事全員重任，監事１名減の２名とし中谷，渡辺両氏重任，代表理事に幸田秀一重任した。
1. 昭和38年12月　第２年度建設に係る事務所外共同施設設置の具体案を決定，鹿島建設㈱と工事契約締結し，茨城県へ昭和38年度中小企業近代化資金貸付申請，昭和39年３月4,652万円の貸付を受く。
   1. 昭和38年12月　第一次従業員宿舎建設につき鹿島建設㈱と契約，工事着手，昭和39年３月商工中金より年金福祉事業団代理貸付金7,980万円の融資を仰ぎ鉄筋コンクリート造独身寮９棟，木造一戸建住宅81棟を建設，同年９月竣工。
1. 昭和39年５月　第２年度建設工事に対する商工中金並に中小企業金融公庫の協調融資各4,150万円の融資を受け工事順調に進行，同時に工場設備機械の購入資金として商工中金より3,650万円，中小企業金融公庫より3,475万円の融資を受け夫々組合員に転貸実施す。
1. 昭和39年７月　工場完成による移転操業開始に伴い爾後の団地運営を円滑にする為下記各委員会組織の設置を決議し発足した。

総務委員会＝団地運営の基本的企画を担当
委員長　幸田理事長　副　宇賀神理事

財務金融委員会＝組合並に組合員の金融を担当
委員長　大口理事　副　樋口理事

文化厚生委員会＝従業員の福利厚生事業担当
委員長　白川理事　副　田原理事

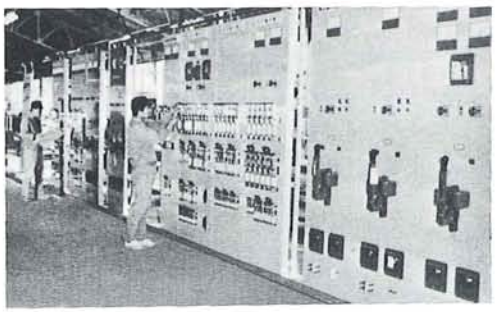
労務委員会＝募集，給与の統一，労務規定其他全般
委員長　宮田理事　副　幸田秀男

技術委員会＝製品規格技術の研究向上を計る
委員長　久保田理事　副　久保田吉男

施設運営委員会＝共同施設の運営建設を担当
委員長　古川社長　副　中谷監事

業務委員会＝配電盤の共同受注，共同購入配電盤業者の輪番制

1. 昭和39年10月３日　初年度及び第２年度工事並に第一期従業員宿舎工事完了，団地施設大方竣工したので関係官庁，金融機関の参列を得て落成式挙行。
1. 昭和39年12月　第３年度事業計画について承認を受け工事実施し，茨城県より中小企業近代化資金2,154万円の貸付を受く。
1. 昭和40年２月　団地並に各社工場の運営を円滑ならしめる為，１日理事長制実施を議決３月より実施。
1. 昭和40年３月　臨時総会開催，中小企業庁担当官，田村公認会計士の臨席を得て団地建設に伴う経理処理の基本線を下記の通り整理のことに決定す。



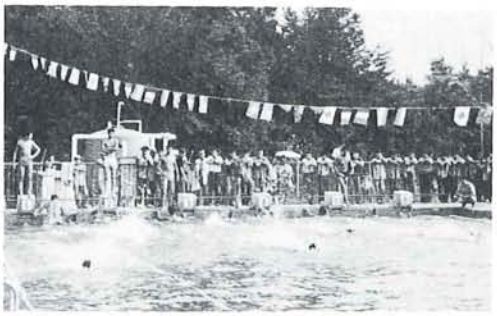
(イ) 共同施設は総て組合の資産とする。
(ロ) 各社の工場は各社の所有物として経理処理する。
(ハ) 共同施設に対する諸経費は賦課金により元本償還は出資徴収による。
(ニ) 建設用土地及び道路用地は組合所有としその醵出金は出資に充当する。
(ホ) 共同施設に対する不足金を各社醵出の建設資金の内から増資に充当，出資総額1,970万円となる。
1. 昭和40年３月　事業部を設置，事業部運営規定を制定して共同受註事業開始。
1. 昭和40年５月　定時総会開催，第３期決算，第４期決算承認，役員改選の結果，理事監事全員重任，理事１名増員古川氏就任。

1. 昭和40年５月　労働省より中小企業集団労務改善補助事業の指定を受け，改善実施計画を樹立５ヶ年間補助金を受けて実施。
1. 昭和40年６月　臨時総会開催，組合借入限度７億円とすること，及び季節資金として中元並に年末融資取扱の方針決定。商工中金より中元資金の融資を受けて転貸実施。
1. 昭和40年６月　第３年度建設事業に対する商工中金並に中小企業金融公庫の協調融資各1,250万円の借入を受け事業完成。
1. 昭和40年６月　労務委員会起草に依る団地共通の就業規則制定，実施を議決。
1. 同年同月　茨城県の指名業者の指定を受け県関係の配電盤共同受註の積極化を計ることとなった。尚，政府の中小企業に対する官公需発註の促進に伴い昭和41年

3月古河自衛隊，42年3月には建設省の指定業者の指名を受けた。

1. 昭和40年8月　組合金融規定，金融財務委員会規定制定，組合私設水道料，交換台利用電話料金徴収を議決実施した。
1. 昭和40年8月より労務委員会提案の従業員に対する労務管理，監督者訓練の講習会開始，以後継続実施のことを議決。
1. 昭和40年9月　第一次建設に伴う自己資金充実を計る為，出資金1,260万円の増資を決定，併て組合員に対して長期運転資金を商工中金から1億2千万円借入れ全員に転貸し業務の円滑を計らしめた。
1. 昭和40年9月　茨城県の団地運営診断開始され翌41年3月報告会開催さる。

1. 昭和40年10月　第2次住宅建設資金3,290万円を借入れ，鉄筋コンクリート造独身寮4棟，木造1戸建家族宿舎24棟を完成，これを以って第一次建設を完了，初年度来の総工費並に機械代等合計11億2,347万円となった。



1. 昭和40年10月　共同食堂を委託経営より自営に切換え独立採算性を議決し実施。
1. 昭和40年12月　共同施設に対する特別賦課金制度を償却費，金利其他直接経費を賄う特別会計として賃貸料徴収に変更実施。
1. 昭和41年2月　組合員の金融補充の為，自己資金1,000万円を原資とした小口金融制度を議決し，3月より1社300万円を限度として実施。
1. 昭和41年3月　本年度より新入社員に対する基礎知識教育訓練を県立職訓校に委嘱実施。
1. 昭和41年6月　事業部水戸営業所開設を決議し，同年8月披露宴開催進出。
1. 昭和41年6月　中小企業庁計画部振興課，助成課及び下請企業課と官公需確保に対する説明会並に対策打合せ会開催。
   1. 昭和41年7月　助成金の償還条件，7ヶ年に緩和さる。
1. 昭和41年10月　創立記念日に文化・体育祭開催を決定実施。
1. 昭和41年11月　商工中金並に中小企業金

融公庫借入金額を向う２年間半額に減額の条件変更承認さる。

1. 昭和41年11月　事業部水戸出張所を一時閉鎖，出張活動によることに切換え。
1. 昭和41年12月　茨城県商工労働部工業課と(1)共同受註，(2)技術開発，(3)講習会及び研究会に就ての座談会開催。

1. 昭和42年５月　第一次建設のうち繰延への工場建設を43年度以降３ヶ年計画にて実施することに決定。
1. 昭和42年５月　通常総会に於て第５期，決算承認，理事増員に関する定款変更を議決，役員改選並に互選の結果，理事長幸田秀一，専務理事伊牟田繁，常務理事宇賀神金四郎，樋口重蔵，白川一郎，久保田正，理事大口慶次郎，田原一郎，宮田優，古川高光，中谷俊衛，渡辺勝次郎，北川末二，監事大矢武雄，藤岡雄吾，以上13名，監事２名就任。
1. 昭和43年１月　増資540万円実施を議決，５月払込終了登記出資金3,770万円となる。
1. 昭和43年３月　茨城県より高度化資金1,210万円商工中金より550万円の貸付を受け西独製ニブリングマシン外共同板金作業機械設置。
1. 昭和43年５月より第二次計画による43年度工場増設に着手，茨城県より43年９月及び12月計4,204万円の高度化資金，商工中金より44年５月880万円の貸付を受け，港工業所外４社の工場増設完了。
1. 昭和43年７月　二次建設に伴う家族宿舎として鉄筋コンクリート二階建１棟建設，年金福祉事業団代理貸1,270万円を受く。
1. 昭和43年８月　組合員社長後継者（所謂二世）の会を結成，組合に新風を吹込む理想の下に新風会と命名して発足，先ず相互間の親睦を計り，次に毎月上旬に勉強会開催，各会員輪番に幹事となり運営することに決した。
1. 昭和44年５月　通常総会開催，第７期決算，第８期予算承認可決，役員任期満了改選の件は監事藤岡雄吾辞退。代って大條駒雄就任，その他の役員は理事長以下全員重任す。
1. 昭和44年６月　団地の実情をＰＲし求人活動を容易且つ積極化する為学校，家庭向に映画「若者のくに」を製作，８㎜及び12㎜フイルム各２本を製作(費用200万円）した。
1. 昭和44年６月　新製品開発の一手段として広くアイデア募集することを議決し白川一郎，久保田正世話人として新聞等に広告する等活動することを決定。
1. 昭和45年１月　第二次計画による44年度

資金として茨城県より高度化資金1,831万円，同年3月商工中金協調融資550万円の貸付を受け宇賀神電機外1件の工場増設完了。

1. 昭和45年2月　全体会議に於て共同板金作業所を協業化法人に改組，株主に配電盤業者11社，板金3社が加盟して積極的に運営することを議決。
1. 昭和45年6月　560万円増資払込，出資金4,330万円となる。
1. 昭和45年8月　臨時総会開催，組合員脱退時の出資払戻金を出資払込金の範囲に於て払戻を行うことに定款変更の件を可決。
1. 昭和45年9月　取引高の拡大に伴い金融規定中運転資金の転貸限度を倍額迄拡大を決定。
1. 昭和46年1月第二次計画45年度分に対する建設診断実施され同年5月茨城県より高度化資金4,963万円，7月商工中金協調融資1,150万円の貸付を受け幸田電機ほか4件の工場増設完成，二次計画終了。
1. 昭和46年1月　柳橋住宅地が調整区域に編入の告示あり，同年7月従業員宿舎用地として開発行為の申請を茨城県へ提出，昭和47年5月知事の許可を得て整備に着手，道路及び排水工事費550万円にて完成。
1. 昭和46年3月　事業部共同受註の拡大を計画，旭日電機を幹事会社として水戸営業所を再開設，白川事業部長の下各社営業責任者の協力体制を強化して，東京営業所と共に各独立活動開始。
1. 昭和46年5月　工場団地全国連合会通常総会に於て組合事業に貢献した功績により中谷理事表彰さる。
1. 昭和46年5月　通常総会開催，第9期決算及び第10期予算承認，役員任期満了に伴う改選の結果全員重任，46年度共同施設に対する借入償還金増大に伴い償還補充資金として増資1,100万円を議決し，8月より分割払込，47年4月払込完了により登記す。
出資合計5,430万円となる。
1. 昭和46年6月　組合運営委員会メンバー交代を議決，下記委員長，委員を委嘱。
財務金融委員会
委員長　宇賀神常務理事
副　大口理事
業務委員会
委員長　幸田理事長
副　白川常務理事
技術委員会
委員長　田原理事
副　樋口常務理事
文化厚生委員会
委員長　久保田常務理事
副　宮田理事
労務委員会
委員長　白川常務理事
副　古川理事
施設運営委員会
委員長　中谷理事
副　渡辺
1. 昭和46年8月　第二次建設完了に付き竣工式挙行。
1. 昭和46年9月　ニクソンショックに対処する心構に就いて商工中金調査部，米沢次長を講師として時局講演会開催，終了後懇談会開催。
1. 昭和46年10月　共同福祉施設設置，並に運営優秀につき労働大臣表彰を受く。
1. 昭和46年12月　第二次建設完了に伴い長期運転資金として商工中金より5,300万

円の融資を受け第二次工場増設者幸田電機ほか8社へ転貸。

1. 新風会の勉強会を毎月7日に開催することを決め7日会と称して田村先生を講師とし財務分析,原価計算テキストを購入,継続して講習実施することを決議。
1. 昭和47年3月　46年度中小企業雇用管理近代化モデル集団の指定を受く，同年4月雇用促進事業団主催の室内体育館建設に関するヒヤリング開催され出席す。
1. 同年同月　日用品マーケット兼従業員クラブ建設を決議，団地内に室内体育館建設予定による計画決議，既設団地見学を決定，6月5日岐阜機械，6月26日静岡金属団地見学。
1. 昭和47年4月　組合従業員退職給与規定制定。
1. 昭和47年5月　雇用管理近代化計画策定の為白川理事を長とする推進委員会結成，同年8月計画書を茨城県へ提出承認さる。
1. 昭和47年6月　夏季中（自7月22日至8月26日）団地内は毎土曜半休制とすることを議決，実施。
1. 同年同月　事業部活動を円滑化する為事業部規約改正。
1. 昭和47年6月　室内体育館，規模並に自己資金調達計画を検討の結果，労働省予算内に於て建築願うことに議決。其の線にて雇用促進事業団並に設計事務所と接渉，仕様書決定。
1. 昭和47年8月　前期同様出資1,100万円増資の件を議決し9月より分割払込のこととし,48年4月に払込済に付き登記す。出資総額6,530万円となる。
1. 昭和47年11月　室内体育館の設備，完成後の運営，管理を担当する体育館運営委員会設立を議決し，委員は新風会員及び工場長を主体とする13名とし，委員長に渡辺義男を委嘱。
1. 同年11月　雇用促進事業団に於て体育館工事入札実施，鶴見建設落札，同月工事着手，48年5月末完成，落成式挙行。
1. 昭和47年12月　事業部活動を休止し，東京及び水戸営業所共に閉鎖，48年1月末迄残務整理のことに決定。
1. 昭和48年1月　日用品マーケット兼従業員クラブ及び塵埃処理場等共同施設に対する建設診断実施され，同年4月中小企業高度化資金貸付申請書を茨城県へ提出。
1. 昭和48年3月～7月　日用品マーケット兼従業員クラブの建屋を板東工業㈱，塵埃処理場は光商工㈱，冷暖房設備は幸田電機商事㈱と工事契約締結，夫々竣工期日を9月末として工事着手。
1. 昭和48年3月　団地　面する県道拡幅工事の為，団地用地166.94㎡及び日用品マーケット敷地39.1㎡県に買収されることとなった。
1. 昭和48年5月　通常総会開催第11期決算，第12期予算承認，役員任期満了による改選の結果全員重任，昭和50年度に週休2日完全実施を目標に本年度より週休2日制（毎月第一土曜）採用を議決，7月から実施のこととした。
1. 昭和48年6月　室内体育館運動設備及び設備予算編成会議開催，体育館運営並に管理規定を制定利用計画，管理要領を検討協議す。
1. 昭和48年10月　団地創立10周年行事を団地内にて行う。団地事務所前に築山を作り，正門より事務所前迄の処に植樹。
1. 昭和49年5月　厚生施設として，テニス

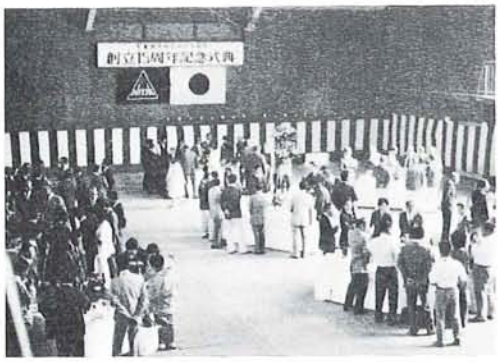
コートを一面建設。

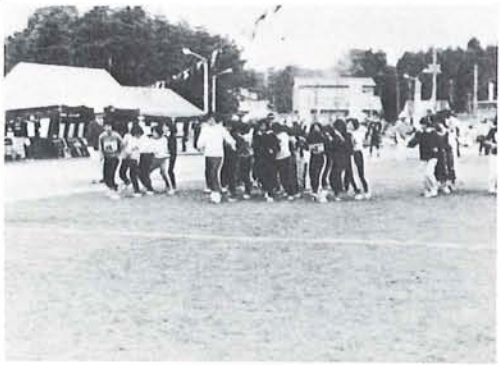
1. 昭和49年７月　1,650万円の増資を行い，出資総額8,180万円となる。
1. 昭和49年８月　厚生施設として，日用品マーケットを開設し「だるまや」に委託経営せしめることにした。
1. 昭和50年１月　創立10周年事業である，理事長の胸像が完成し団地事務所前に建立した。
1. 昭和50年１月　団地内企業は週休２日制を実施する。
1. 昭和50年５月　通常総会開催，役員任期満了により改選の結果，全員重任と決定した。
1. 昭和50年11月　臨時総会に於て常務理事宇賀神金四郎氏死亡並に理事渡辺勝次郎氏辞任の申出に伴う後任補充の結果，宇賀神正氏及び渡辺義男氏が選任された。
1. 昭和51年２月　柳橋住宅地の所有者名儀を組合より組合員に移す。
1. 昭和51年９月　組合員社長を対象とする長寿祝金制度を創設。
1. 昭和52年１月　組合各種委員会の委員長及び副委員長の変更を一部行い次のように委嘱した。

総務企画委員会
　委員長　幸田理事長
　副　村田　清
財務金融委員会
　委員長　久保田常務理事
　副　白川常務理事
業務委員会
　委員長　白川常務理事
　副　宇賀神理事
文化厚生委員会
　委員長　渡辺理事
　副　宮田理事
労務委員会
　委員長　幸田秀男理事
　副　白川節太郎
技術委員会
　委員長　宇賀神理事
　副　田原　博
施設運営委員会
　委員長　中谷理事
　副　北川理事
長期計画策定委員会
　委員長　白川常務理事
　副　久保田常務理事

1. 昭和52年４月　１組合員に対する短期貸付金５百万円迄について専務理事の専決とした。
1. 昭和52年５月　田原，大口両理事死亡に伴う後任理事として，村田清，幸田秀男両氏を理事に選任。
1. 昭和52年５月　定款を一部変更し，新たに副理事長制を設け，白川，久保田両氏を副理事長に選任。
   本措置に伴い常務理事制は廃止。
1. 昭和53年１月　１組合員に対する季節資金の貸出限度を２千万円より４千万円に引上。
1. 昭和53年５月　第16回総会にて役員の改選を行い，健康上の理由にて伊牟田繁専務理事が退任し，後任に藤沢右門が就任し，外全員重任。

1. 昭和53年７月　団地敷地の一部を三四物産株式会社に貸与しガソリンスタンドを開設。
1. 昭和53年10月　団地完成15周年記念式典並びに運動会を団地にて行う。
1. 昭和53年10月　久能住宅団地の所有名儀を組合より組合員に移す。





1. 昭和54年３月　組合各種委員会の正副委員長を一部変更し，次のように委嘱した。

総務企画委員会
　委員長　幸田理事長
　副　渡辺理事
業務委員会
　委員長　宇賀神理事
　副　幸田理事
財務金融委員会
　委員長　久保田副理事長
　副　白川副理事長
文化厚生委員会
　委員長　渡辺理事
　副　藤岡康太郎
労務委員会
　委員長　幸田理事
　副　白川節太郎
技術委員会
　委員長　白川節太郎
　副　田原　博
施設運営委員会
　委員長　大矢英男
　副　中谷俊衛

1. 昭和54年４月　組合の経理組織を部門別独立採算制に変更。
1. 昭和54年４月　久能住宅団地内の組合所有私道を総和町へ寄附。
1. 昭和55年３月　組合より組合員日光工業株式会社が脱退し，出資持分，不動産の一切を組合員株式会社日幸電機製作所へ譲渡。
1. 昭和55年３月　組合員鷲宮ユニコントロール株式会社が脱退し，鷲宮ジョンソン・コントローズ株式会社がその出資持分，不動産の譲渡を受け組合に加入した。
1. 昭和55年８月　１組合員に対する季節融資の貸出限度を４千万円より６千万円に割引手形の最高限度２億円を３億円に各々引上。
1. 昭和55年10月　組合の旅費の全面改正及び慶弔並に団体保険加入取扱規程の制定をした。
1. 昭和56年５月　第19回総会に於て役員改選を行い重任を辞退した樋口重蔵氏を除き全員重任。
1. 昭和56年５月　組合専従職員の停年男子55才，女子45才を一率に60才に延長する。
1. 昭和56年６月　久保田正副理事長逝去に

伴う後任の副理事長として渡辺義男理事を選任。

1. 昭和56年５月　団地設立20周年誌編纂委員会が編成された。

委員長　宮田　優

委　員　寺内庄一郎，白川　昇

藤沢右門，中村宣夫

1. 昭和56年６月　組合の給与規程を全面改正定。
1. 昭和56年７月　組合内各種委員会の内，下記委員会の正副委員長を変更する。

総務企画委員会

委員長　白川副理事長

副　渡辺副理事長

財務金融委員会

委員長　渡辺副理事長

副　白川副理事長

1. 昭和56年７月　組合の休職規程を制定。
1. 昭和56年７月　組合にて共同生産を行う函の取扱要項制定。
1. 昭和57年１月　団地創立20周年行事実行委員会が編成された。

委員長　渡辺義男

副　宇賀神正，幸田秀男

委　員　宮田優，大矢英男，藤岡康太郎，村田光章，白川節太郎，北川真

1. 昭和57年２月　１組合員に対する単名資金の貸出最高限度は団地内所有土地㎡当り２万円とし，之に所有土地の㎡数を掛けた数字とすることに改正。
1. 昭和57年５月　大矢武雄監事死亡に伴う後任監事として大矢英男氏を選任。
1. 昭和57年８月　１組合に対する商手割引枠の限度を１社最高３億円とあるのを１社最高５億円に改正。

1. 昭和57年10月　団地設立20周年記念式典並にカラオケ大会を団地にて行う。

1. 昭和58年３月　組合員株式会社樋口製作所は廃業し，組合を脱退した。
1. 昭和58年５月　大條駒雄監事死亡に伴う後任の監事に山田稔氏を選任した。
1. 昭和59年１月　株式会社飯塚電機製作所が当組合に加入し，旧株式会社樋口製作所の跡地に入所した。
1. 昭和59年５月　第22回総会に於て役員改選を行い，重任を辞退した古川高光氏を除き全員重任した。
1. 昭和59年６月　組合各種委員会の正副委員長が，次のように交替した。

総務企画委員会

委員長　白川一郎

副　渡邉義男

財務金融委員会

委員長　渡邉義男

副　白川一郎

業務委員会
委員長　宇賀神正
副　幸田秀男
文化厚生委員会
委員長　山田　稔
副　藤岡康太郎
労務委員会
委員長　幸田秀男
副　白川節太郎
技術委員会
委員長　白川節太郎
副　田原　博
施設委員会
委員長　大矢英男
副　中谷俊衛

1. 昭和59年6月　組合員株式会社旭日電機製作所が廃業し，昭和60年3月付にて組合を脱退した。
1. 昭和59年11月　臨時総会を開催し，欠員中の役員を次の如く補充した。
理　事　藤岡康太郎，村田光章，大條修也，北川真，久保田勝三
監　事　羽田健一
1. 昭和60年5月　組合員鷺宮ジョンソン・コントロールズ株式会社は日本ジョンソン・コントロールズ株式会社に名称を変更した。
1. 昭和61年3月　組合員株式会社田原電機製作所は団地内に所有する土地建物全部を株式会社日幸電機製作所に売却し，組合を脱退した。
1. 昭和61年7月　組合員に対する貸出最高限度は団地内所有土地面積の㎡当り23,500円を掛けた金額と防衛預り金の合計額とすることに改正。
1. 昭和62年1月2日　幸田秀一理事長逝去される。
昭和62年2月　㈱幸田電機製作所，幸田商事㈱，当組合及び全国工場団地協同組合連合会の合同葬儀が九品仏，浄真寺で行われた。
1. 昭和62年1月8日　臨時総会及び理事会を開催し，幸田秀一氏逝去に伴なう役員補充の審議を行い，次のように選任した。
理事長　白川一郎
副　大矢英男
監　事　白川節太郎

1. 昭和62年3月23日　白川一郎理事長の就任披露宴を古河市栃木家で行われた。
1. 昭和62年3月　組合員光商工株式会社は，茨城県倒産企業買取，高度化資金を借入れ，旧組合員株式会社旭日電機製作所の団地内設備一切を買取った。
1. 昭和62年4月　組合各種委員会の改編を行い，次の部及び委員会に改正し，正副委員長，部長を委嘱した。
1. 総務労務施設委員会
委員長　大矢英男
副　幸田秀男
白川節太郎
財務金融委員会

委員長　渡邉義男
副　宇賀神正

文化厚生委員会

委員長　山田　稔
副　北川　真
久保田勝三

業務部

業務部長　宇賀神正
担当部長　中村宜夫

1. 昭和62年５月　第25回総会に於て，役員任期満了に付，改選を行い，全員留任。
1. 昭和62年６月　金融規程を一部改正し，団地内土地の担保価格を㎡当り26,700円に引上げた。
1. 昭和62年９月　組合員三国工業株式会社は工場を閉鎖し，組合より脱退した。
1. 昭和62年10月　日幸ドイツエアロスペース株式会社が組合に加入した。

役員変遷表

昭和62年9月20日現在

(故)幸田秀一	理事長	昭和37年4月	昭和62年1月
白川一郎	常務理事	昭和37年4月	昭和52年5月
	副理事長	昭和52年5月	昭和62年1月
	理事長	昭和62年1月	現在
(故)久保田正	理事	昭和37年5月	昭和42年5月
	常務理事	昭和42年5月	昭和52年5月
	副理事長	昭和52年5月	昭和56年5月
渡邉義男	理事	昭和50年11月	昭和56年6月
	副理事長	昭和56年6月	現在
大矢英男	監事	昭和57年5月	昭和62年1月
	副理事長	昭和62年1月	現在
伊牟田繁	専務理事	昭和39年11月	昭和53年5月
藤沢右門	専務理事	昭和53年5月	現在
樋口重蔵	常務理事	昭和37年4月	昭和52年5月
	理事	昭和52年5月	昭和56年5月
(故)宇賀神金四郎	常務理事	昭和37年4月	昭和50年10月
(故)田原一郎	理事	昭和37年4月	昭和48年4月
武藤任	理事	昭和37年4月	昭和42年5月
宮田優	理事	昭和37年4月	現在
(故)大口慶次郎	理事	昭和37年4月	昭和52年3月
古川高光	理事	昭和40年5月	昭和59年5月
(故)北川末二	理事	昭和42年5月	昭和59年7月
中谷俊衛	監事	昭和37年5月	昭和42年5月
	理事	昭和42年5月	現在
宇賀神正	理事	昭和50年11月	現在
幸田秀男	理事	昭和52年5月	現在
村田清	理事	昭和52年5月	昭和53年5月

藤岡康太郎	理事	昭和59年11月	現在
村田光章	理事	昭和59年11月	現在
大條修也	理事	昭和59年11月	現在
北川眞	理事	昭和59年11月	現在
久保田勝三	理事	昭和59年11月	現在
(故)渡邉勝次郎	監事	昭和37年4月	昭和42年5月
遠藤てる	監事	昭和37年4月	昭和37年11月
(故)大矢武雄	監事	昭和42年5月	昭和57年3月
藤岡成吉	監事	昭和42年5月	昭和43年5月
(故)大條駒雄	監事	昭和43年5月	昭和58年3月
山田稔	監事	昭和58年5月	現在
羽田健一	監事	昭和59年11月	昭和62年9月
白川節太郎	監事	昭和62年1月	現在

組合及組合員等が受けた表彰等

表彰状	労働大臣	昭和46年９月28日
表彰状	通商産業大臣	昭和56年11月27日
感謝状	総和町町長	昭和60年10月12日
感謝状	東京都知事	昭和61年１月22日

組合関係国家褒章受章者名簿

幸田秀一（故）	従五位	昭和62年
	勲四等旭日重光章	昭和62年
	勲四等瑞宝章	昭和42年
	黄綬褒章	昭和40年
	紺綬褒章	昭和37年
宇賀神金四郎（故）	従五位	昭和50年
	勲四等瑞宝章	昭和48年
	藍綬褒章	昭和42年
大條駒雄（故）	勲四等瑞宝章	昭和51年
	黄綬褒章	昭和41年
村田清	勲三等瑞宝章	昭和55年
	藍綬褒章	昭和49年
	紫綬褒章	昭和37年
白川一郎	勲五等瑞宝章	昭和59年

組合関係機関よりの表彰者名簿

通商産業大臣表彰	幸田秀一	昭和58年
中小企業庁長官表彰	幸田秀一	昭和44年
東京都知事表彰	白川一郎	昭和57年
茨城県知事表彰	宮田優	昭和62年
〃	中谷俊衛	〃
茨城県労働基準局長表彰	中村宣夫	昭和62年
中小企業事業団理事長表彰	白川一郎	昭和56年

全国工場団地協同組合連合会会長表彰

中谷俊衛（46年度）	白川一郎（55年度）
伊牟田繁（51年度）	宮田優（56年度）
古川高光（54年度）	藤沢右門（61年度）

東京都中小企業団体中央会会長表彰

樋口重蔵（49年度）	中村宣夫（50年度）
白川一郎（〃）	岩瀬清（〃）
久保田正（50年度）	古川高光（51年度）
大口慶次郎（〃）	渡邉勝次郎（〃）
宮田優（〃）	北川末二（54年度）
中谷俊衛（〃）	大矢武雄（55年度）
伊牟田繁（〃）	

社団法人日本電気協会会長表彰

幸田秀一（53年度）

全国中小企業団体総連合会会長表彰

幸田秀一（41年度）

全国中小企業団体中央会会長表彰

幸田秀一（54年度）

現役員紹介

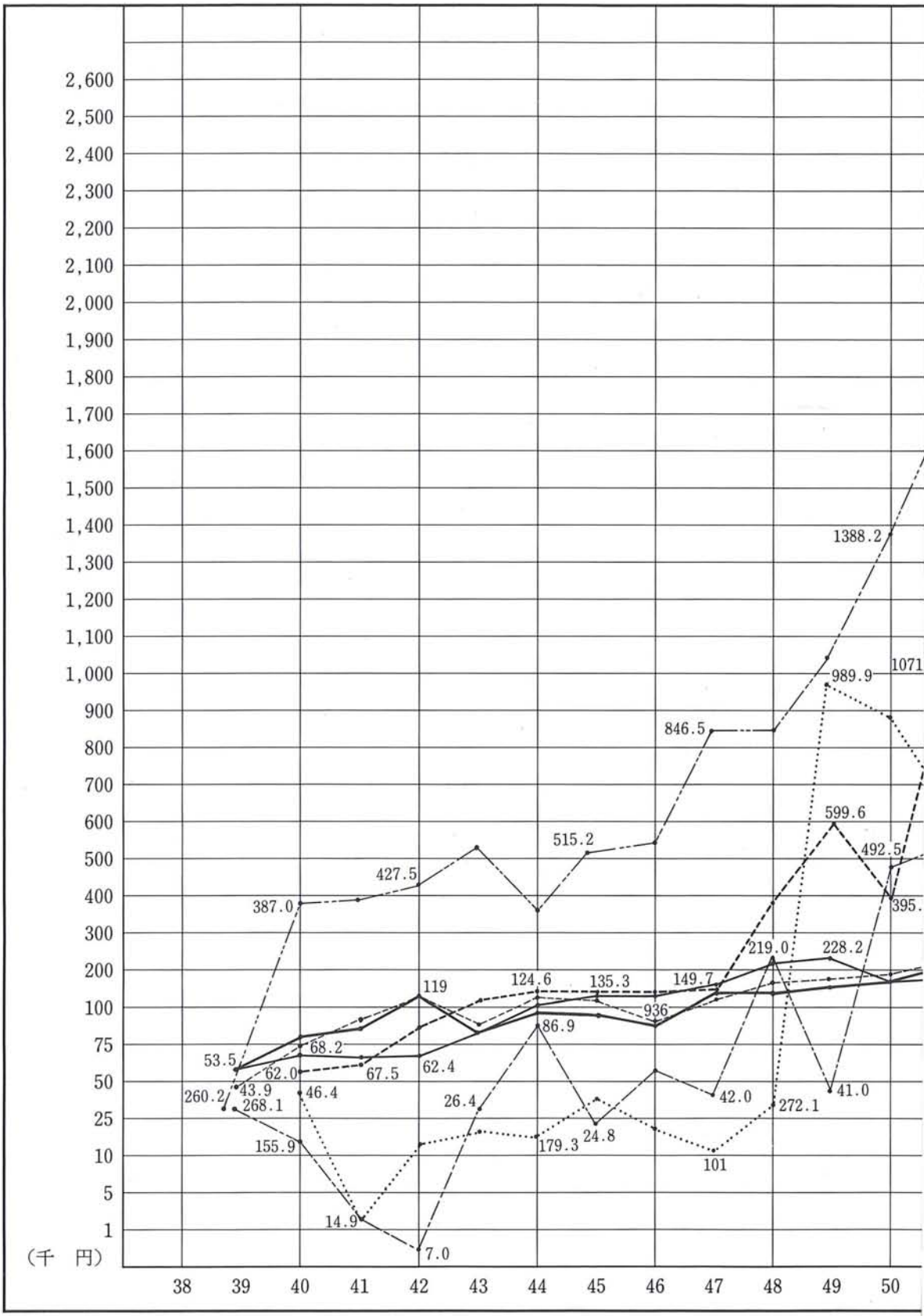
理事長	白川一郎	㈱白川電機製作所	代表取締役会長
		ハイデン工業㈱	代表取締役社長
副理事長	渡邉義男	㈱渡邉製作所	代表取締役社長
副理事長	大矢英男	大矢化学工業㈱	代表取締役社長
専務理事	藤澤右門	配電盤茨城団地協同組合	事務局
理事	宮田優	宮田電機㈱	代表取締役社長
〃	中谷俊衛	㈱港工業所	代表取締役社長
〃	宇賀神正	宇賀神電機㈱	代表取締役社長
〃	幸田秀男	㈱幸田電機製作所	代表取締役社長
〃	藤岡康太郎	キムラ電機㈱	代表取締役社長
〃	村田光章	光商工㈱	代表取締役社長
〃	大條修也	㈱日幸電機製作所	代表取締役社長
〃	北川眞	三邦電機工業㈱	代表取締役社長
〃	久保田勝三	荏原電機工業㈱	代表取締役社長
監事	山田稔	㈱大口電気計器製作所	代表取締役社長
〃	白川節太郎	㈱白川電機製作所	代表取締役社長

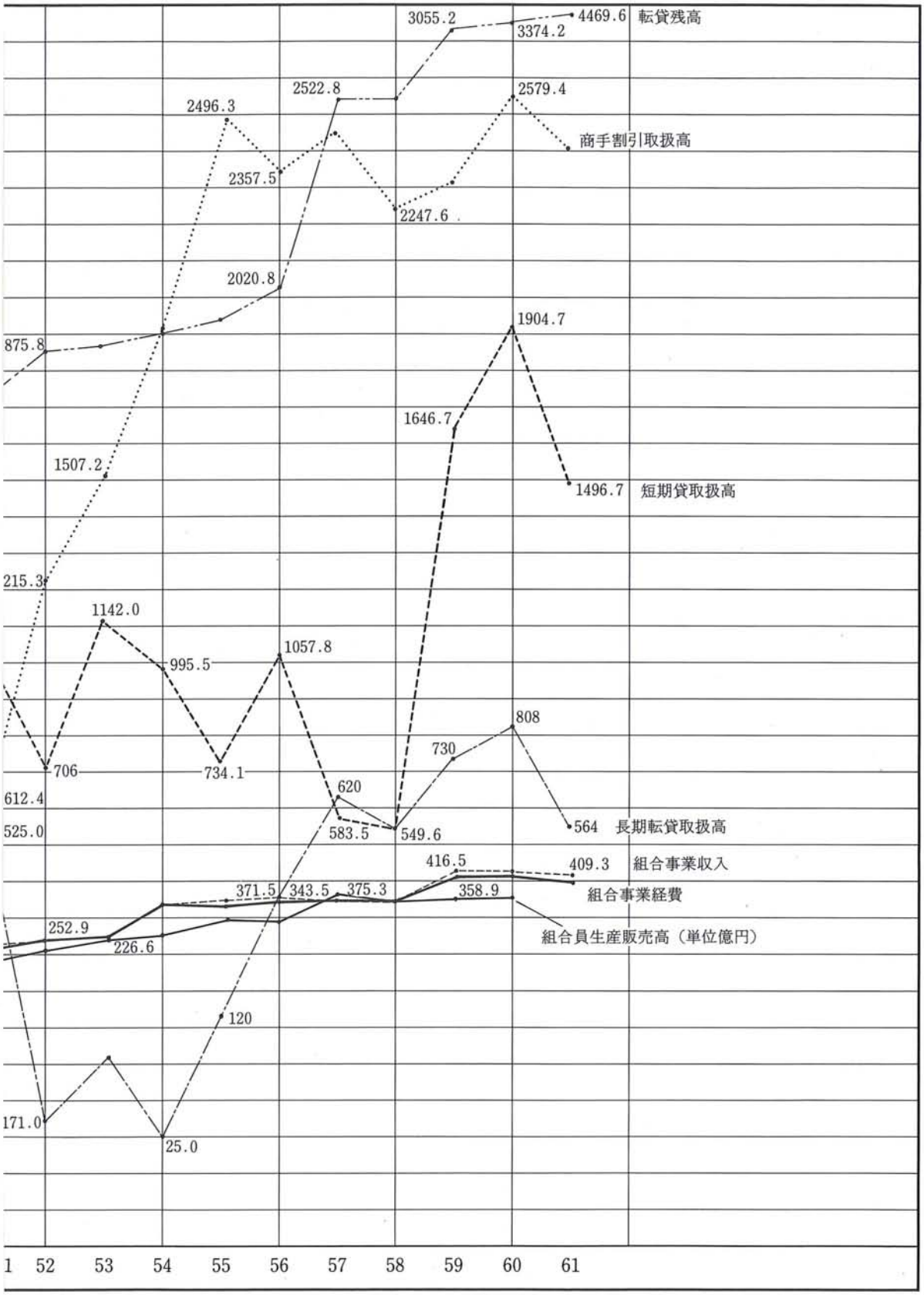
組合員物故者名簿

氏　名	会　社　名	逝去日
田原一郎	(田原電機株式会社)	昭和48年4月3日
宇賀神金四郎	(宇賀神電機株式会社)	昭和50年10月11日
大口慶次郎	(株式会社大口電気計器製作所)	昭和52年3月25日
羽田伝一	(三国工業株式会社)	昭和52年7月14日
久保田正	(荏原電機工業株式会社)	昭和56年5月18日
大矢武男	(大矢化学工業株式会社)	昭和57年3月25日
大條駒雄	(株式会社日幸電機製作所)	昭和58年3月24日
渡邉勝次郎	(株式会社渡邉製作所)	昭和58年7月6日
北川末二	(三邦電機工業株式会社)	昭和59年6月20日
三ヶ尻隆治	(三ヶ尻工業株式会社)	昭和60年10月27日
幸田秀一	(株式会社幸田電機製作所)	昭和62年1月2日
〃	(ハイデン工業株式会社)	

組合事業の推移

年間取扱高




3055.2
4469.6
転貸残高
3374.2
2522.8
2579.4
2496.3
商手割引取扱高
2357.5
2247.6
2020.8
1904.7
875.8
1646.7
1507.2
1496.7
短期貸取扱高
215.3
1142.0
1057.8
995.5
808
730
706
734.1
620
612.4
564
長期転貸取扱高
525.0
583.5
549.6
416.5
409.3
組合事業収入
371.5
343.5
375.3
358.9
組合事業経費
252.9
226.6
組合員生産販売高（単位億円）
120
171.0
25.0
1
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61

配　電　盤　団　地　音　頭

作詞者
白川一郎
小倉敏秀
中村宣夫
藤沢右門
古河盆唄替唄

一、古河の駅から東南一里
　雑木林や田畑をならし
　明日の世代の明日の世代の街づくり
　　チヤツチヤカ　トツチヤカ　配電盤
　　トツチヤカチヤツチヤカ配電盤
　　（噺子以下くりかえし）

二、団地づくりのかんなんしんく
　心あわせて三年みつき
　中小企業の中小企業の心意気

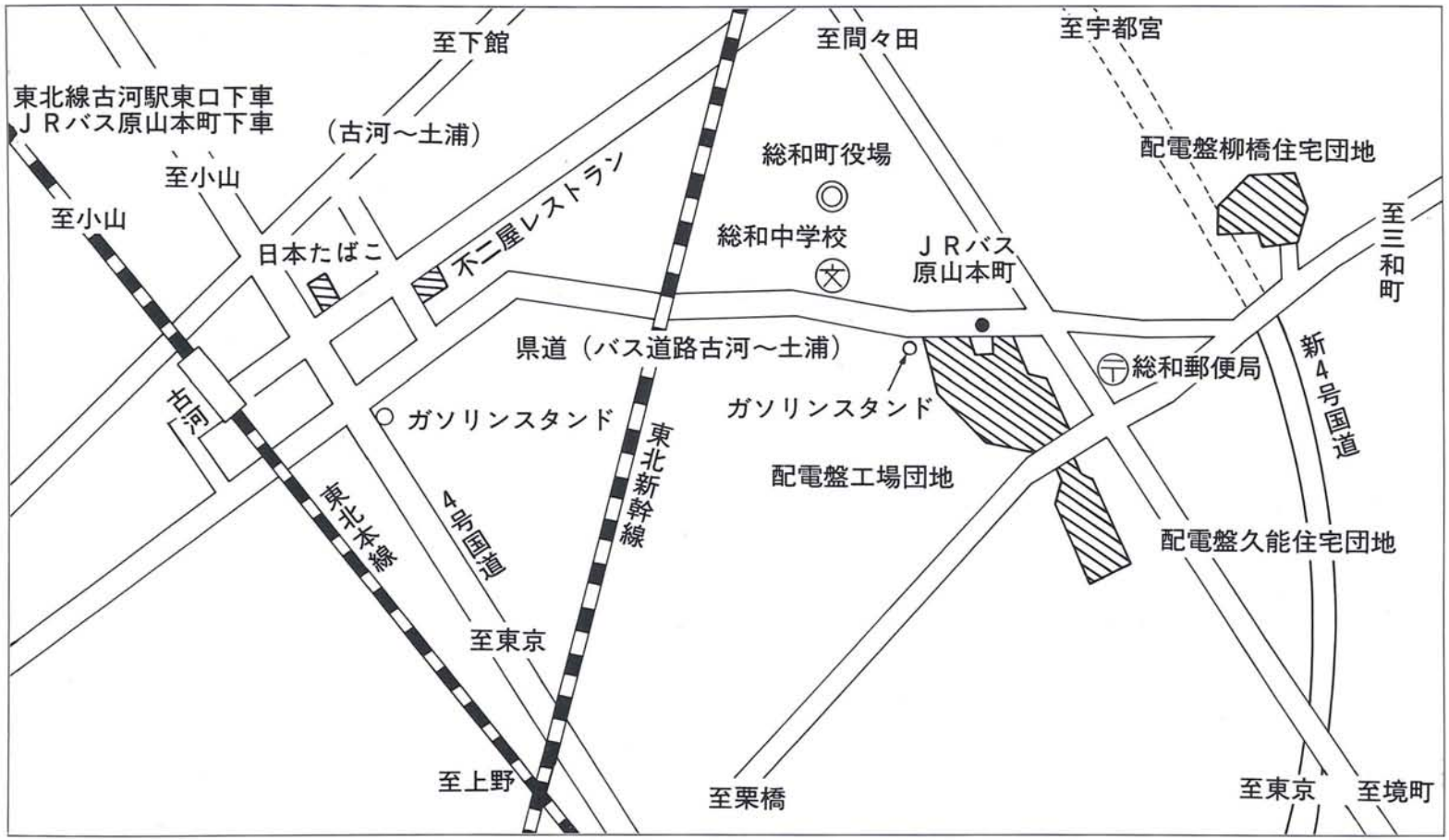
三、筑波高嶺に阪東太郎
　これにおとらゆ総和の団地
　明日の世代の明日の世代のパラダイス

四、国に団地はかずかずあれど
　自慢できるよ　オープン団地
　中小企業の中小企業の　新天地

五、団地の年輪年毎ふえて
　今や数えて二十と五年
　明日の世代を明日の世代を開く意気

注　5番2行目の「二十と五年」とある処は，年を重ねるに従い年数を多くして行きます。

団地への交通略図


至下館
至間々田
至宇都宮
東北線古河駅東口下車
ＪＲバス原山本町下車
（古河～土浦）
至小山
至小山
総和町役場
総和中学校
配電盤柳橋住宅団地
至三和町
日本たばこ
不二屋レストラン
ＪＲバス
原山本町
県道（バス道路古河～土浦）
総和郵便局
新4号国道
古河
ガソリンスタンド
ガソリンスタンド
東北新幹線
東北本線
4号国道
配電盤工場団地
配電盤久能住宅団地
至東京
至上野
至栗橋
至東京
至境町

団地内各社配置図

敷地面積

総面積	147,104 ㎡
共同施設敷地	16,632 ㎡
構内道路	18,076 ㎡
工場敷地	112,396 ㎡
内訳区分	A 6,611 ㎡
	B 3,305 ㎡
	C 1,652 ㎡

株式会社　白川電機製作所

本　　社　〒152 東京都目黒区目黒本町２丁目７番１号　Tel　03-714-2131(代)
資本金　4,500万円　取締役社長　白川節太郎

工　　場　東京工場　〒152 東京都目黒区目黒本町２丁目７番１号
Tel　03-714-2131（大代）
茨城工場　〒306-02 茨城県猿島郡総和町下大野2000番
Tel　0280-92-0340
熊本工場　〒861-21 熊本県上益郡益城町古閑(熊本総合工業団地内)
Tel　0962-86-2894

営　業　所　北海道営業所・東北営業所・神戸営業所・広島営業所・九州営業所・名古屋営業所・沖縄営業所

工場敷地　本社工場　780㎡　茨城工場　6,621㎡

建物面積　本社４階建　1,548㎡　茨城工場　2,579㎡(鉄工場１棟・組立工場２棟)

沿　　革　大正７年創業，昭和23年合資会社設立，昭和29年株式会社変更，昭和39年茨城工場操業開始，昭和44年工場増築，昭和55年本社社屋新築

役　　員　取締役会長　白川一郎，取締役社長　白川節太郎，専務取締役　白川龍弥，常務取締役　菊地行雄，取締役　小俣昌久・鈴木正人・石川英治，監査役　白川　昇

従　業　員　男子103名　女子13名　計116名
（内団地勤務者　男子57名　女子６名　計63名）

生産加工品名　高圧／低圧配電盤，キュービクル，各種監視盤／監視装置，自動制御盤，分電盤，耐熱型分電盤，開閉器，端子盤，集中監視制御盤，コンピュータシステム，その他各種電気機械器具の製造・販売および一切の保守と付帯事業

有資格者　１級組立技能士４名，２級組立技能士13名，１級鈑金技能士４名，２級鈑金技能士３名，１級金属塗装技能士１名

主要機械設備　直結ボール盤８台，ベンダー２台，シャーリング２台，トンプル１台，コーナーシャー１台，切断機２台，アイアンワーカー２台，セットプレス２台，セレストッカー１台，アーク溶接機10台

荏原電機工業株式会社

本　　社	〒141 東京都品川区上大崎3-13-21　Tel　03-441-0211(代)
	ＦＡＸ　03-441-0212
	資本金　2,000万円　取締役社長　久保田勝三
工　　場	〒306-02 茨城県猿島郡総和町下大野2000番　Tel　0280-92-0239
	ＦＡＸ　0280-92-4307
工場敷地	茨城工場　6,600㎡
建物面積	茨城工場　1,650㎡
沿　　革	昭和10年創業，昭和13年株式会社組織として設立，昭和39年配電盤茨城団地第一次工事竣工，昭和45年第２工場増設，昭和62年本社ビル新築
役　　員	取締役社長　久保田勝三，常務取締役　御厨文武，取締役　北原兼男
従業員	男子41名　女子９名　計50名
	（内団地勤務者　男子24名　女子５名　計29名）
生産加工品名	高低圧受配電盤，分電盤及び端子盤，監視盤，制御盤，直流高圧継電器
有資格者	電気主任技術者３種１名，電気工事士５名，職業訓練指導員２名，危険物取扱者免許１名，配電盤電気製図技能士３名，配電盤電気機器技能士10名，玉掛講習修了者９名，クレーン運転講習修了者２名，高圧電気取扱講習修了者２名，その他，技能資格講習修了者多数
主要機器設備	旋盤５台，フライス盤４台，ボール盤29台，シャーリング５台，電気ドリル27台，クレーン３台，油圧圧着器８台

宮田電機株式会社

本　　社	〒106 東京都港区南麻布１丁目24番６号　Tel　03-452-8531(代) 資本金　900万円　取締役社長　宮田　　優
出 張 所	福島県郡山市
工　　場	〒306-02 茨城県猿島郡総和町下大野2000番　Tel　0280-92-0243(代)
工場敷地	6,773㎡
建物面積	825㎡
沿　　革	大正９年創業，昭和９年現在に移転，昭和20年株式会社組織，昭和36・37年増資，昭和39年茨城工場新設，昭和40年更に増資現在に至る
役　　員	代表取締役　宮田　優，取締役　宮田泰孝・宮田　元・篠原　実，監査役　前田　元
従 業 員	男子33名　女子７名　計40名 （内団地勤務者　男子25名　女子６名　計31名）
生産加工品名	工業計器盤，高低圧配電盤（屋外・屋内），各種分電盤，各種自動制御盤，各種監視盤，計装用パネル，各種キュービクル
有資格者	配電盤組立１級技能士３名，２級技能士２名，電気製図１級技能士１名，２級技能士１名，職業訓練指導員５名
主要機械設備	プレス３台，ボール盤９台，竪型ミーリング１台，横型ミーリング１台，旋盤１台，ブスバーベンダー１台，高速切断機２台，クレーン２基，試験設備一式

株式会社　幸田電機製作所

本　　社　〒152 東京都目黒区八雲３丁目10番３号　Tel　03-718-9215(代)
資本金　800万円　取締役社長　幸田　秀男

工　　場　〒306-02 茨城県猿島郡総和町下大野2000番　Tel　0280-92-0926

本社営業部　〒141 東京都品川区上大崎２丁目24番18号-1101　ストークビル11Ｆ
Tel　03-490-7701

北関東事業所　〒330 埼玉県大宮市吉敷町２-46-402
Tel　0486-46-0721

工場敷地　茨城工場　9,900㎡

建物面積　3,603㎡

沿　　革　昭和２年創業，昭和13年株式組織，昭和39年茨城工場完成，昭和42年本社ビル新築，昭和45年茨城第二工場竣工

役　　員　代表取締役社長　幸田秀男，取締役　大條修也・幸田和男・杉浦盛治，監査役　福島一雄

従業員　男子70名　女子35名　計105名
（内団地勤務者　男子60名　女子30名　計90名）

生産加工品名　高低圧配電盤，分電盤，自動制御盤類，グラフィックパネル，端子盤等，気送管設備，荷物用エレベーター，厨房機器，一般鈑金，プレス加工，電気工事

有資格者　配電盤組立二級技能士12名，アーク溶接士３名，電子組立二級技能士４名，電気通信工事士１名，電気工事士３名

主要機械設備　スケアシャーリング１台，プレスブレーキ１台，アングルカッター１台，パワープレス１台，旋盤１台，ラジアルボール盤１台，アーク溶接機２台，油圧式端子圧着器１式，クレーン設備１式

三邦電機工業株式会社

本　　社　〒130 東京都墨田区本所３丁目22番３号　Tel　03-624-3511(代)
資本金　2,000万円　取締役社長　北川　　眞

工　　場　茨城県猿島郡総和町下大野2000番　Tel　0280-92-0755

営 業 所　水戸営業所　〒310 茨城県水戸市泉町２－２-29　Tel　0292-24-2261
宇都宮営業所　〒320 栃木県宇都宮市花園町４－１　Tel　0286-35-1951
千葉営業所　〒280 千葉県千葉市長州１-21-３　Tel　0472-21-0338

工場敷地　6,500m²

建物面積　2,283m²

沿　　革　昭和15年城東製作所として創業，昭和22年株式会社組織として現在の社名に変更，39年茨城工場建設，昭和41年水戸営業所開設，46年宇都宮営業所開設，また第２組立工場建設，昭和58年千葉営業所開設

役　　員　取締役社長　北川　眞，取締役　高橋　登・北川　春，監査役　北川則子

従 業 員　男子80名　女子18名　計98名
（内団地勤務者　男子46名　女子８名　計54名）

生産加工品名　キュービクル式受変電設備，配・分電盤，監視盤，制御盤

有資格者　１級配電盤組立技能士４名・２級13名，電気工事士７名，１級電子機器組立技能士１名，２級電子機器組立技能士１名，２級工場板金技能士２名，プレス機械作業主任者３名，有機溶剤作業主任者６名，衛生管理者免許２名，ガス溶接技能士12名，アーク溶接技能士６名，鉛作業主任者２名，ガス熔接作業主任者１名

主要機械設備　コピーニブリングマシン１台，油圧ベンダー２台，パンチングマシン１台，アイアンワーカー２台

宇賀神電機株式会社

本　　社　〒106 東京都港区南麻布２丁目３番21号　Tel　03-455-1611(代)
ＦＡＸ　03-455-2610
取締役社長　宇賀神　正　資本金　4,700万円

工　　場　本社工場　同上
古河工場　〒306-02 茨城県猿島郡総和町下大野2000番
Tel　0280-92-0566(代)　ＦＡＸ　0280-92-5481

営　業　所　茨城営業所　同上
千葉営業所　〒272 千葉県市川市市川３－４－10　Tel　0473-25-2456

古河工場敷地　8,430m²　住宅用敷地　3,000m²　建物面積　2,300m²

沿　　革　昭和２年創立，22年株式会社組織，39年配電盤団地に第一工場，稼動，45年第二工場稼動，47年千葉営業所開設，48年第三工場稼動，51年茨城営業所開設

役　　員　取締役社長　宇賀神　正，常務取締役　久保田吉男，取締役　成宮寛治・渡辺　稔，顧問　寺内庄一郎，監査役　木村健治(工業所桟　　泰，中村敬)

従　業　員　男子84名　女子11名　計95名
（内団地勤務者　男子53名　女子６名　計59名）

生産加工品名　ＵＣＳ－ＥＣ3000(小型監視システム)・認定共用キュービクル式非常電源専用受電設備，監視盤，制御盤，高低圧配電盤，分電盤，

有資格者　電気主任技術者２種１名，社会保険労務士免許１名，衛生管理者２名，電気製図(配電盤，制御盤)技能士１級７名，２級２名，配電盤制御盤組立技能士１級８名，２級10名，工場板金技能士１級２名，２級２名，電子機器組立技能士１級１名，２級５名，職業訓練指導員設計４名，配電盤・制御盤５名，板金１名，電気工事士13名，

主要機械設備　Ｎ．Ｃ．ベガー357(パンチプレス)１台，油圧ベンダー２台，アイアンワーカー１台，コーナーシャワー１台，シャーリング２台，バイブルシャー２台，セットプレス１台，

株式会社　渡邉製作所

本　　社　〒142 東京都品川区小山１丁目８番３号　Tel　03-782-4111(代)
資本金　3,500万円　取締役社長　渡邉　義男

工　　場　本社工場　東京都品川区小山１丁目８番３号　Tel　03-782-4111(代)
茨城工場　〒306-02　茨城県猿島郡総和町下大野2000番
Tel　0280-92-0230

工場敷地　本社工場　952㎡　茨城工場　6,798㎡

建物面積　本社工場　723㎡　茨城工場　825㎡

沿　　革　昭和５年創業，昭和13年合資会社組織，昭和35年株式会社組織，昭和39年茨城工場新設，昭和47年本社工場新築

役　　員　取締役社長　渡邉義男，専務取締役　渡邉昭夫，取締役　渡邉三保，取締役　渡邉美子，監査役　水島軍治

従業員　男子40名　女子10名　計50名
（内団地勤務者　男子５名　女子４名　計９名）

生産加工品名　受変電盤，制配電盤，分電盤，端子盤，液面リレー自動制御箱，水位開閉器，真空開閉器他

有資格者　電気機器技能士１級１名，電気機器技能士２級２名，電気工事士３名

主要機械設備　旋盤５台，形削盤２台，ミーリング盤２台，フライス盤２台，各種ボール盤11台，プレス８台，鋸盤２台，グラインダー４台，切断機２台，電動ホイスト２台

株式会社　飯塚電機製作所

本　　社　〒141 東京都品川区北品川 5 - 4 -18　Tel　03-443-8211(代)
資本金　400万円　取締役社長　飯塚　賢治

工　　場　茨城工場(制御機)配電盤茨城団地組合内
〒306-02 茨城県猿島郡総和町下大野2000番　Tel　0280-92-5251(代)

沿　　革　昭和27年 4 月設立(創業昭和 8 年)，昭和 8 年飯塚光道が飯塚電機商会創立
昭和27年株式会社に改組。昭和49年飯塚光道死去に伴い飯塚賢治社長就任
昭和59年制御機工場を茨城配電盤団地へ移転

生産加工品名　配電盤一般，エンジン発電機，エンジンポンプ用自動制御盤，機械用自動制御機，高低圧盤，分電盤

主要機械設備　試験用変圧器，試験用高周波発電機，定電圧電源装置，配電盤試験装置，直流電源装置，風圧風量試験装置他

日本ジョンソンコントロールズ株式会社

本　　社　〒112 東京都文京区後楽１－１－８　後楽ビル　Tel　03-813-4151(代)
資本金　８億円　取締役社長　間宮　成夫

工　　場　〒306-02 茨城県猿島郡総和町下大野2000番地　Tel　0280-92-0346

支　　店　大阪，名古屋，九州(福岡)，東北(仙台)，北海道(札幌)ほか
営業所・出張所／全国20ヶ所

工場敷地　6,402㎡

建物面積　1,679㎡

沿　　革　昭和46年　株式会社鷺宮製作所と米国ジョンソンコントロールズ社の合弁会社「鷺宮ジョンソンコントロールズ」として設立，昭和60年５月「日本ジョンソンコントロールズ株式会社」と社名変更

役　　員　代表取締役社長　間宮成夫，常務取締役　税所正邦・宮崎隆典，取締役　鈴木基之・中島芳昭

従業員　男子356名　女子91名　計447名
（内団地勤務者　男子15名　女子２名　計17名）

生産加工品名　空調制御盤，総括制御盤の設計，製作

有資格者　危険物取扱主任者第４類１名，電気検定第３種１名，配電盤技能士２名，玉掛技能講習終了者２名，ガス溶接作業主任者２名，アーク溶接主任２名，フォークリフト運転士２名

株式会社　港工業所

本　　社　〒108 東京都港区芝浦３丁目19番19号　Tel　03-769-1221
資本金　2,400万円　取締役社長　中谷　俊衛

工　　場　〒306-02 茨城県猿島郡総和町字下大野2000番　Tel　0280-92-1727(代)

工場敷地　6,033㎡

建物面積　2,382㎡

沿　　革　昭和18年創業，昭和24年株式会社組織，本店を港区三田におく。昭和62年本店を港区芝浦に移転業績の向上と拡大を計る。

役　　員　取締役社長　中谷俊衛，常務取締役　筒浦貞雄，取締役　鈴木　貴・小出洋一・中谷俊一，監査役　中谷きよの

製産加工品名　計器用変成器，変圧器，試験用変圧器，小容量変圧器，特殊変圧器，特別高圧，屋外油入窒素密封式鉄槽式鉄槽形(11 kV～77 kV)，高圧，柱上用ＥＰＴゴムモールド形，レジンモールド形

有資格者　第１種・第３種電気主任技術者４名，衛生管理者１名，高圧電気工事士２名，防火管理者３名，乙種４類危険物取扱者３名，機械技能士２名，有機溶剤作業主任者３名，仕上技能士１名，プレス機械作業主任者１名，鉛作業主任者２名，アーク溶接取扱者１名，ガス溶接講習修了者５名，クレーン運転講習修了者４名，玉掛講習修了者６名，フォークリフト運転講習修了者５名

主要機械設備　工作機械類，巻線設備，ゴム圧入加硫設備，絶縁ワニス乾燥設備，絶縁ワニス真空含浸設備，レジン真空注形設備

光商工株式会社

本　　社	〒104 東京都中央区銀座7－4－14　光ビル　Tel　03-573-1351(代) 資本金　1億2千万円　取締役会長　村田　　清
工　　場	〒306-02 茨城県猿島郡総和町下大野2000番　Tel　0280-92-0355
営 業 所	大阪営業所・名古屋営業所・福岡営業所
工場敷地	6,144㎡
建物面積	2,761㎡
沿　　革	昭和24年港区新橋に資本金30万円を以て株式会社創立，昭和35年大阪，36年名古屋に営業所開設，昭和37年現在地に新社屋完成移転，40年茨城工場完成，48年福岡に営業所開設
役　　員	取締役会長　村田　清，取締役社長　村田光章，専務取締役　村田龍二，取締役　竹田博行・高橋　弘・大島　博・片寄富弥，監査役　真下英夫・有田耕政
従 業 員	男子145名　女子55名　計200名 （内団地勤務者　男子30名　女子25名　計55名）
生産加工品名	地絡継電器・漏電警報器・漏電遮断器等保安機器
有資格者	3種電気主任技術者1名，高圧電気工事士2名，低圧電気工事士19名，職業訓練指導員6名，1級電子機器組立技能士7名，2級電子機器組立技能士9名2級電気製図技能士4名，衛生管理者2名，消防設備士2種7類2名，有機溶剤作業主任者3名，高圧ガス製造保安責任者1名，ガス溶接作業主任者2名，玉掛作業主任者3名，クレーン作業主任者1名，危険物取扱主任者3名
主要機械設備	周波数変換器，恒温槽，振動試験器，耐電圧試験器，自動検査装置，インサーキットテスター，負荷試験装置，コロナ試験装置，100kVレインパルス試験器，シンクロスコープ，メモリースコープ，自動半田装置，リードカッター

株式会社　日幸電機製作所

本　　社　〒158 東京都世田谷区奥沢３－４－１　Tel　03-729-1171(代)
資本金　１億800万円　代表取締役　大條　修也

工　　場　古河工場　〒306-02 茨城県猿島郡総和町下大野2000番
Tel　0280-92-0233
坂元工場　〒989-21 宮城県亘理郡山元町坂元字八軒23
Tel　0223-38-1121

支　　店　札幌・仙台・新潟・古河・東京・松本・沼津・浜松・富山・金沢・名古屋・大阪・広島・福岡

工場敷地　30,864㎡

建物面積　13,489㎡

沿　　革　昭和10年本社地で創業，13年株式会社組織，39年古河工場完成，42年坂元工場第一期・第二期の新築に続き第三期新築完成，43年，坂元に電子工場完成，44年丸森工場完成，58年初代社長大條駒雄急逝し新に大條修也代表取締役に就任，59年丸森工場は日幸電機精工㈱とし独立，60年創立50周年記念行事挙行，62年６月東京工場を古河工場内に移動集約

役　　員　代表取締役社長　大條修也，専務取締役　根本文司，常務役締役　大條文也・岡田雅光・寺田　繁，取締役　平澤　勲・白石　哲・犀川克郎・高橋明，監査役　酒井敏彦

従業員　男子207名　女子139名　計346名
（内団地勤務者　男子44名　女子24名　計68名）

生産加工品名　ＦＭサーキットブレーカー，漏電遮断器，電子機器用各種プロテクタ，安全ブレーカー，電子機器，ディスポーザー，スライサー

有資格者　プレス作業主任者13名，危険物取扱責任者３名，第三種電気主任技術者３名，有機溶剤作業主任３名，衛生管理者４名，高圧ガス作業主任者２名，防火管理者７名

主要機械設備　ＮＣ旋盤３台，スポット溶接９台，自動旋盤５台，研削盤３台，トルクプレス４台，油圧プレス２台，エアープレス９台，棒材自動供給機３台，プランジャーボス取機３台

キムラ電機株式会社

本　　社	〒141 東京都品川区西五反田１丁目33番10号　Tel　03-492-8511(代) 資本金　7,150万円　取締役社長　藤岡康太郎
工　　場	〒306-02 茨城県猿島郡総和町下大野2000番　Tel　0280-92-0522(代)
営　業　所	大阪・神奈川・多摩・九州営業所
工場敷地	5,892㎡
建物面積	1,822㎡
沿　　革	昭和２年創業，昭和39年茨城工場完成稼動，昭和44年九州，50年大阪，51年多摩，55年神奈川営業所開設，昭和57年９月茨城新工場完成
役　　員	代表取締役会長　藤岡雄吾，代表取締役社長　藤岡康太郎，常務取締役　森昭三，取締役　関　幸雄・中谷　優，相談役　古川雅敏，監査役　菅原利明
従　業　員	男子97名　女子38名　計135名 （内団地勤務者　男子53名　女子26名　計79名）
生産加工品名	表示灯，端子台，操作用スィッチ，アナンシュータ，グラフィック盤，ＬＥＰランプ，モザイクシステム盤
有資格者	技能検定２級９名
主要機械設備	自動彫刻機，各種プレス機械，照度測定器，オシログラフ測定装置，万能投影機，振動衝撃装置，耐圧試験装置，温度試験装置，湿度試験装置，絶縁試験装置，自動ダイボンダ，自動ワイヤボンダ，熱衝撃試験機，光学顕微鏡，樹脂ディスペンサ，乾燥炉

株式会社　大口電気計器製作所

本　　社　〒108 東京都港区三田五丁目６番３号　Tel　03-452-5271
資本金　1,000万円　代表取締役　山田　　稔

工　　場　〒306-02 茨城県猿島郡総和町下大野2000番　Tel　0280-92-0352

工場敷地　本社　210㎡　茨城　3,167㎡

建物面積　本社　310㎡　茨城　　432㎡

沿　　革　昭和２年創業，昭和28年法人組織，昭和39年茨城工場完成，昭和52年大口慶次郎代表の死去により山田稔が代表取締役となる。

役　　員　代表取締役　山田　稔，取締役　芝田光夫，森野正雄，堀井満子，儘　重男

従業員　男子11名　女子９名　計20名
（内団地勤務者　男子５名　女子７名　計12名）

生産加工品名　電気計器

主要機械設備　計器製造，試験設備一式

大矢化学工業株式会社

本　　社	〒153 東京都目黒区上目黒１-10-13　Tel　03-462-2251(代) 資本金　800万円　代表取締役社長　大矢　英男
工　　場	〒306-02 茨城県猿島郡総和町下大野字丸山　Tel　0280-92-1526(代) 〒192 東京都八王子市石川町2973～１　Tel　0426-42-8151(代)
工場敷地	21,300㎡
建物面積	12,000㎡
沿　　革	昭和７年創業，昭和16年株式組織，24年塗装工場復興，31年本社工場完成，53年茨城工場の大型化完成，56年八王子塗料工場・57年粉体塗装工場完成
役　　員	代表取締役　大矢英男，専務取締役　大矢敦雄，常務取締役　大矢智伸，取締役　大矢三次・阿部尚之・山田正次・大矢光伸，監査役　阿部晴枝
従業員	男子125名　女子20名　計145名 （内団地勤務者　男子40名　女子８名　計48名）
生産加工品名	金嶺化成処理(パーカライジング処理)，粉体塗装，金属塗装(吹付・焼付)，塗料製造
有資格者	１級技能士(金属塗装)25名，２級技能士(金属塗装)40名，ボイラー技士１級４名・２級３名，危険物取扱者免許８名，特定化学物質取扱者主任２名，有機溶剤作業主任者５名，クレーン運転士11名，玉掛技能講習修了者15名，乾燥炉取扱主任者12名
主要機械設備	パーカライジングライン30ton，45ton，60ton各１ライン，ボイラー４基，乾燥炉50基，ブース45台，コンプレッサー50基，塗料製造設備一式，粉体塗装１ライン，連続塗装ライン３ライン，ホイスト90台，フォークリフト11台

三ヶ尻工業株式会社

本　　社　〒106 東京都港区南麻布２－８－21　Tel　03-451-1535㈹
　　資本金　4,000万円　代表取締役社長　三ヶ尻隆幸

工　　場　三田工場　Tel　03-451-1535
　　〒306-02 茨城県猿島郡総和町下大野2000番　Tel　0280-92-0361㈹

工場敷地　3,300㎡

建物面積　1,379㎡

支　　店　〒340-01 幸手倉庫　埼玉県北葛飾郡幸手町大字内国府間字岸内

沿　　革　昭和９年東京麻布にて前社長三ヶ尻隆治が三ヶ尻塗装店を創業する，昭和21年10月塗装部門をやめ，板金専門工場として三ヶ尻工業設立，昭和39年10月協同組合の一員として茨城県猿島郡総和町下大野2000に進出，昭和43年茨城工場を拡張　建物990㎡にする，昭和60年５月茨城工場増設369.6㎡計1,379㎡になる，昭和60年６月レーザー機導入，昭和60年11月三ヶ尻隆幸社長就任，昭和61年11月資本金4,000万円に増資し，現在に至る。

役　　員　代表取締役社長　三ヶ尻隆幸，取締役専務　三ヶ尻守男，取締役工場長　三ヶ尻光行，監査役　大野俊幸

従業員　男子26名　女子３名　計29名

有資格者　騒音関係公害防止管理者１名，板金一級技能者２名，溶接科職業訓練指導員免許１名，ガス溶接作業主任者９名，アーク溶接作業主任者７名，玉掛技能講習終了者７名，フォークリフト講習終了者15名，クレーン技能講習終了者４名，危険物取扱講習終了者３名，牽引車１名，防火管理者１名，安全管理者２名，安全衛生管理者１名，プレス主任技術者２名，特定粉塵作業講習終了者１名

主要機械設備　レーザー１台，NCパンチプレス２台，NCベンダー２台，ベンダー１台，シャーリング10尺　１台，シャーリング８尺・４尺　各１台，CO２自動溶接機10台，アイヤンワーカー１台，メタルソー１台，バープレス４台，コーナーシャー１台，プラズマ１台

東京特殊工業株式会社

本　　社	〒106 東京都港区南麻布２丁目２番11号　Tel　03-452-0628
	資本金　504万円　取締役社長　古谷野　カツ
工　　場	〒306-02 茨城県猿島郡総和町下大野2000番　Tel　0280-92-0750
	ＦＡＸ　0280-92-0752
工場敷地	2,640㎡
建物面積	1,736㎡
沿　　革	昭和28年創業，32年株式組織，昭和38年茨城工場建設，39年稼動，この間昭和36・37・39年に増資，44年第二工場完成，61年鈑金工場増設
役　　員	取締役社長　古谷野カツ，専務取締役　古谷野孝男・常務取締役　古谷野執・取締役相談役　古谷野　武
従 業 員	男子14名　女子８名　計22名
	（全員団地勤務）
生産加工品名	プレス加工，板金加工，油密・気密容器の製造，製缶加工，プレス金型製造
有資格者	工場板金１級免許１名
主要機械設備	NCターレット・パンチプレス３台，NCベンダー（110t），ベンダー２台，クランクプレス２台，パワープレス９台，シャーリング３台

ハイデン工業株式会社

本　　社　〒105 東京都港区芝大門２-11-１　Tel　03-434-1305
　　資本金　500万円　代表取締役　白川　一郎

工　　場　〒306-02 茨城県猿島郡総和町下大野200番　Tel　0280-92-0014

工場敷地　1,438㎡

建物面積　970㎡

沿　　革　昭和45年４月ハイデン工業株式会社として発足，配電盤茨城団地協同組合共同板金作業所を協業化法人に改組，昭和46年新工場竣工，昭和49年新工場事務所完成，57年メカニカルシャーリング及NCベンダを設置し省力化を計る。

役　　員　代表取締役　白川一郎，取締役　宇賀神正，北川　真，久保田勝三，森　泰次

従 業 員　男子12名　女子１名　計13名
　　（内団地勤務者　男子12名　女子１名　計13名）

生産加工品名　配電盤，分電盤，キュービクル，制御盤，監視盤，外電気機器の板金加工

有資格者　工場板金１級免許１名，プレス機械作業主任者１名，アーク溶接技能士６名，ガス溶接技能士８名，クレーン運転特別教育修了者３名，労務管理者１名，防火管理者３名

主要機械設備　コピーニグリング，パンチングコピーニブリング，NC付ベルダ（100ｔ），ベンダ(25ｔ)，シャーリング２台，アイアンワーカー１台，コーナーシャー２台，スポット溶接機１台，スタットウェルダー１台，半自動溶接機８台，アーク溶接機10台，走行クレーン１基，ガス溶接機１台，セットプレス１台

日幸ドイツエアロスペース株式会社

本　　社　〒158 東京都世田谷区奥沢３－４－１　Tel　03-728-6621
資本金　4,000万円　代表取締役　大條　修也

工　　場　〒306-02 茨城県猿島郡総和町下大野丸山2000番　Tel　0280-92-4537

支　　店　名古屋営業所　〒461 名古屋市東区泉２-25-１　Tel　052-932-1841
大阪営業所　〒550 大阪市西区土佐堀３－１－３　Tel　06-444-2630

工場敷地　1,773.81㎡

建物面積　597.35㎡

沿　　革　昭和56年４月米国ドイツ社と㈱日幸電機製作所との間に締結された。合弁事業契約に基き上記本社地にて創業，以後昭和57年３月古河工場新築完成，同５月米空軍省（ＡＦＬＣ）によりＭＩＬ―コネクター，同６月米海軍省（ＮＡＣ）により，ＭＩＬ―コネクター組み立て工場として，認定される。昭和57年10月フランスのドイツ社（米国ドイツ社との合弁会社）の全製品の日本国内総販売代理店となる。昭和59年１月㈱東芝京浜事業所原子力事業部，並びに同３月三菱重工業㈱名古屋航空機製作所のコネクター組み立て認定工場となる。同３月フランス・ドイツ社の技術指導により水中コネクターモールディング工場完成。昭和60年６月日産自動車㈱宇宙航空事業部並びに，同11月富士重工業㈱のコネクター組み立て認定工場となる。
昭和60年９月横河ヒューレット・パッカード㈱のファスナー組み立て認定工場となる。

役　　員　代表取締役社長　大條　修也，取締役副社長　長谷川栄三，取締役　寺田繁・レスター・ドイツ，カール・ドイツ，監査役　根本　文司

従業員　男子19名　女子７名　計26名
（内団地勤務者　男子５名　女子３名　計８名）

生産加工品名　コネクター・ファスナー・リレー及びパイプ接続システム（パーマスウエージ）

有資格者　プレス作業主任者９名，危険物取扱責任者６名，第３種電気主任技術者４名，有機溶剤作業主任者４名，衛生管理者８名，高圧ガス作業主任者３名，防火管理者５名

主要機械設備　コネクター・ファスナー製造設備１式

組　合　員　名　簿

（順不同）

組　合　員　名	代表者氏名	所在地（本社工場）	電話 FAX	本社工場	団地工場	業　　種
㈱白川電機製作所	白川節太郎	〒152 東京都目黒区目黒本町2-7-1	☎ FAX	(03)714-2131 (03)715-5224	(0280)92-0340 (0280)92-5554	配，分電盤，自動制御盤 キュービクル受電設備
荏原電機工業株式会社	久保田勝三	〒141 東京都品川区上大崎3-13-21	☎ FAX	(03)441-0211 (03)494-8700	(0280)92-0239 (0280)92-4307	〃
宮田電機株式会社	宮田　優	〒106 東京都港区南麻布1-24-6	☎ FAX	(03)452-8531 (03)452-8535	(0280)92-0243 (0280)92-0264	〃
㈱幸田電機製作所	幸田　秀男	〒141 東京都品川区上大崎 2-24-18-1101	☎ FAX	(03)490-7701 (03)725-0027	(0280)92-0926 (0280)92-0268	〃
三邦電機工業株式会社	北川　眞	〒130 東京都墨田区本所3-22-3	☎ FAX	(03)624-3511 (03)625-4616	(0280)92-0755 (0280)92-1014	〃
宇賀神電機株式会社	宇賀神　正	〒106 東京都港区南麻布2-3-21	☎ FAX	(03)455-1611 (03)455-2610	(0280)92-0566 (0280)92-5481	〃
㈱渡邉製作所	渡邉　義男	〒142 東京都品川区小山1-8-3	☎ FAX	(03)782-4111 (03)788-4101	(0280)92-0230 (0280)92-0953	〃
㈱飯塚電機製作所	飯塚　賢治	〒141 東京都品川区北品川5-4-18	☎ FAX	(03)443-8211 (03)763-4584	(0280)92-5251 (0280)92-5466	〃
日本ジョンソン・ コントロールズ㈱	間宮　成夫	〒112 東京都文京区後楽 1丁目1番8号　後楽ビル	☎ FAX	(03)813-4151 (03)818-0065	(0280)92-0346 (0280)92-0670	〃
㈱港工業所	中谷　俊衛	〒108 東京都港区芝浦3-19-19 辻田ビル	☎ FAX	(03)769-1225 (03)769-1227	(0280)92-1727 (0280)92-1737	計器用変圧器，変流器， 変成器
光商工株式会社	村田　光章	〒104 東京都中央区銀座西7-4-14	☎ FAX	(03)573-1351 (03)574-0647	(0280)92-0355 (0280)92-3709	接地継電器，電気火災 警報器
㈱日幸電機製作所	大條　修也	〒158 東京都世田谷区奥沢3-4-1	☎ FAX	(03)729-1171 (03)727-3644	(0280)92-0233 (0280)92-6147	ノーヒューズブレーカー
キムラ電機株式会社	藤岡康太郎	〒141 東京都品川区西五反田 1-33-10	☎ FAX	(03)492-8511 (03)494-1907	(0280)92-0522 (0280)92-5095	表示灯，端子台，接続 器，電気部品
㈱大口電気計器製作所	山田　稔	〒108 東京都港区三田5-6-3	☎ FAX	(03)452-5271 (03)452-5275	(0280)92-0352	電気計測器，切換開閉 器
大矢化学工業株式会社	大矢　英男	〒153 東京都目黒区上目黒1-10-14	☎ FAX	(03)462-2251 (03)477-7543	(0280)92-1526 (0280)92-0266	パーカーライジング加 工，塗装加工
三ヶ尻工業株式会社	三ヶ尻隆幸	〒106 東京都港区南麻布2-8-21	☎ FAX	(03)451-1287	(0280)92-0361 (0280)92-3374	板金加工
東京特殊工業株式会社	古谷野カツ	〒106 東京都港区南麻布2-2-11	☎ FAX	(03)451-6206	(0280)92-0750 (0280)92-0752	プレス，板金加工
ハイデン工業株式会社	白川　一郎	〒105 東京都港区芝大門2-11-1	☎ FAX	(03)434-1305	(0280)92-0014	板金加工
日幸ドイツエアロスペース株式会社	大條　修也	〒158 東京都世田谷区奥沢3-4-1	☎ FAX	(03)728-6621 (03)728-6639	(0280)92-4537 (0280)92-4537	電機電子回路コネクター パイプ接続システム

㊟　団地工場の所在地は19社全部，茨城県猿島郡総和町下大野2000番地（〒306-02）です。

配電盤茨城団地協同組合

団地事務所　茨城県猿島郡総和町下大野2000番地
(0280)92-1811（代表）　ＦＡＸ(0280)92-1815
東京事務所　東京都港区芝大門２丁目11番1号（配電盤工業会館内）
(03)434-1305（代表）　ＦＡＸ(03)434-1309